

事務事業名	本庁部局 財産総務管理事業		所属部	総務部	所属課	管財課
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	財産管理監視G	課長名 富山 照夫
	施策名	〈05〉時代にあった行政サービスの実現		担当者名	原 淳夫	電話番号:0854-40-1025 (内線) 2372
	目的・対象	A)市民 B)行政機能	意図	公平で効率的なサービスを受ける(提供する)。		
	基本事業	〈012〉業務と組織機構の効率化		予算科目	0:1:1:0:0:2 0:5:3:0:0:1	大事業名 財産総務管理事業 中事業名 財産総務管理事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
行政財産・普通財産	①事務に支障が生じないように維持する ②各種施設の維持及び修繕を図る ③維持管理経費の節減に努める
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	全庁:登記専門員人件費、建物保険料(企業会計、特別会計除く)、各台帳整備委託 本庁:公用車・職員駐車場借上料 上記のための義務的経費
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動) ・対象施設維持管理 ・個別資産利活用方針の決定(17件) ・市有財産売却入札の開催	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 事業主要な部分を占める保険料・委託料・賃借料であるが、削減の余地はなかなか見いだせないが、委託料の縮減を図っている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 登記専門員雇用等経費	千円	2,362	2,489	2,536	2,614
イ 保険料	千円	7,586	7,521	7,725	8,068
ウ 事業委託	千円	5,469	5,397	5,574	5,408
エ 使用料・賃借料	千円	7,068	7,754	7,766	7,877

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)	
上記以外に ・消耗品費、修繕費、通信運搬費:60千円 ・手数料:926千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円	100	4,035	1,145	269
		一般財源	千円	24,247	20,804	23,442	24,534
	事業費計	千円	24,347	24,839	24,587	24,803	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	行政財産・普通財産を問わず、財産を適切に管理していくうえで、必要な事業を行っており、分野は多岐に渡っている。適切な保険加入や、今後の普通財産の処分や利活用に向けた取り組みが円滑に進むよう事業を行えている。
② 事業実施するうえでの課題	普通財産の処分や利活用に向けた取り組み
③ 課題解決に向けた改革改善等	市全体で公共施設解体が進む中で、財産の処分や利活用に向けた取り組みの強化。管財課内に市有財産利活用推進室を設置し専門的に取り組む。